



令和元年中の市内における特殊詐欺認知件数は47件となっており、高齢者が被害に遭うことが多くなっています。

特殊詐欺に要注意!

▼問合せ 市民協働課



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

	件数	被害金額
平成27年	22	約4,400万円
平成28年	15	約4,600万円
平成29年	28	約4,000万円
平成30年	30	約2,900万円
令和元年	47	約4,500万円

出典：警察統計

6月末現在、認知件数7件で前年同月と比較し22件減少していますが、今後、特別定額給付金など新型コロナウイルス感染症に関連した特殊詐欺が増加することが懸念されます。犯罪の防止対策委員会では、地域の青色防犯パトロール実施団体に協力してもらい、車両による見守り活動の際に、特殊詐欺被害への注意喚起も行っています。

詐欺の手口の一例

「キャッシュカードが不正に使われています」と言われる
 「還付金があります」と言われる
 自宅にキャッシュカードや現金を取りに来る
 「新型コロナウイルスが水道管に残っているので消毒が必要」と言われる



このような巧妙な手口を使ってきますので、ご注意ください!

安まちメールは、詐欺の手口など、情報を配信しています。
 touroku@info.police.pref.jpに空メールを送信し、安まちメールに登録してください。



詐欺の犯人は、電話で息子や百貨店の店員、市役所職員、銀行員などになりすまし、言葉巧みに現金を要求したり、キャッシュカードを受け取りに来たりします。「お金」や「新型コロナウイルス」の話が出れば、一度電話を切り、家族や警察へ相談してください。

犯罪の防止対策委員会の委員長(柴田賢次さん)からのメッセージ



新型コロナウイルスによる感染が続いていますが、私自身は手洗い・うがいなど「予防」に気を付けて、孫と田植えをしたりしながら日常生活を送っています。

セーフコミュニティも同じく「予防」に気を付けてもらう活動です。犯罪の防止対策委員会では自転車盗難防止や特殊詐欺被害の防止などに取り組んでいますが、「自転車から離れる時は必ず鍵をかける」、「市役所などを名乗り還付金の話があれば家族に相談する」といっ

た予防の気持ちを一人ひとりが持って、行動に移してくれるだけで、松原市での犯罪の発生は減少します。

セーフコミュニティの取り組みは何も難しいことはありません。一人ひとりができることを続け、みんなで松原市を安心・安全なまちにしていきたいと思います。



▲田植えの様子